

# 卒業研究(製品デザインコース)

必修 開講年次：4年次通年 科目区分：演習 単 位：6単位 講義時間：90時間

■**科目のねらい**：4年間の学部教育の集大成として、デザイン総合実習等で培ったそれぞれの専門分野に基づいて研究テーマを設定し、それぞれの研究指導教員の指導を受けながら論文及び作品としてまとめ、研究成果を学内外で発表・展示する。

■**到達目標**：①研究テーマについて専門的に追求し、1年間を通して卒業研究成果を「論文」と「作品」の両方についてまとめる。  
②上記を通じ、調査分析力、問題解決能力、研究推進力、発想力、デザイン制作力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につける。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎安齋 利典・張 浦華・柿山 浩一郎・金 秀敬・小宮 加容子・三谷 篤史・矢久保 空遥

■**授業計画・内容**：

第1回	オリエンテーション 研究テーマの選定	第16回	研究活動
第2回	具体的研究方法の設定	第17回	研究活動
第3回	研究にあたっての計画作成	第18回	研究活動
第4回	卒業研究計画書の提出	第19回	研究活動
第5回	研究活動	第20回	研究活動
第6回	研究活動	第21回	研究活動
第7回	研究活動	第22回	研究活動
第8回	研究活動	第23回	研究活動
第9回	研究活動	第24回	口頭試問に向けての準備
第10回	研究活動	第25回	口頭試問に向けての準備
第11回	研究活動	第26回	論文提出・制作展示・口頭試問
第12回	研究活動	第27回	評価を受けての改善・修正
第13回	中間発表会に向けての準備	第28回	評価を受けての改善・修正
第14回	中間発表会に向けての準備	第29回	評価を受けての改善・修正
第15回	中間発表会	第30回	最終はい展示

■**教科書**：テーマに応じ、必要と思われる資料を各研究指導教員より紹介する

■**参考文献**：テーマに応じ、必要と思われる資料を各研究指導教員より紹介する

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②		
定期試験				
小テスト・授業内レポート				
授業態度	○		積極的な取り組み姿勢と計画性	20
発表	○		発表内容と適切なプレゼン	20
課題・作品	◎		論文、作品の完成度	60
出席			2/3以上の出席	欠格条件
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習I～III

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：便宜上授業計画・内容は設定されているが、基本的には研究指導教員の指導方針にしたがうこと。

十分な科学的根拠に基づいた、新規性の高い、また卒業研究にふさわしい研究テーマを見つけ、真摯に取り組む中で自らの成長を図ること。

第三者に読まれることを想定し、客観的な記述による卒業論文を執筆すること。

学部教育の集大成として、時間の許す限り作品の完成度を高める努力をすること。